



公園づくり ニュース

©八恵子/Yaeko Project

ホームページ <http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/d00019688.html>

このニュースは、(仮称) 二子玉川公園の公園づくりに関する情報を発信するものです。

今号の主な内容

- 健康づくりのための公園ワークショップを開催(1ページ)
- 遊び場ワークショップをおこないました(2・3ページ)
- (仮称)二子玉川公園計画地周辺の風景-昭和30年頃-(4ページ)



※公園ができるまでをわかりやすく伝える、子ども向け「こうえんニュース7」を折り込んでいます。

健康づくりのための公園ワークショップを開催

公園で
元気に!!

公園の設計に向けた1日完結型のワークショップの第3弾をおこないます。
今回のテーマは「健康づくり」。ワークショップでは、誰もが楽しく健康づくりができるような公園の利用方法や空間づくりなどについて考えます。

健康がテーマですので、高齢者の方を含め、幅広い年齢の方の参加をお待ちしています。

開催日時: 10月30日(土) 午前10時～午後0時30分(午前9時45分から受付開始)

会場: 日本菓子専門学校(上野毛2-24-21)

参加には事前の申し込みが必要です!

申し込み方法:

二子玉川施設整備課へ電話またはファクシミリ(必ず、住所・氏名・電話番号・保育希望の有無をご記入ください)でお申し込みください。

電話: 5432-2513 FAX: 5432-3107

※電話でのお申し込みは、平日(月～金)の午前8時30分から午後5時までをお願いします。

※**ワークショップ当日(10月30日)の連絡先 080-1128-9034**

※**会場には駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。**

締切日: 10月25日(月)午後5時まで



遊び場ワークショップをおこないました (9月11日土曜日)

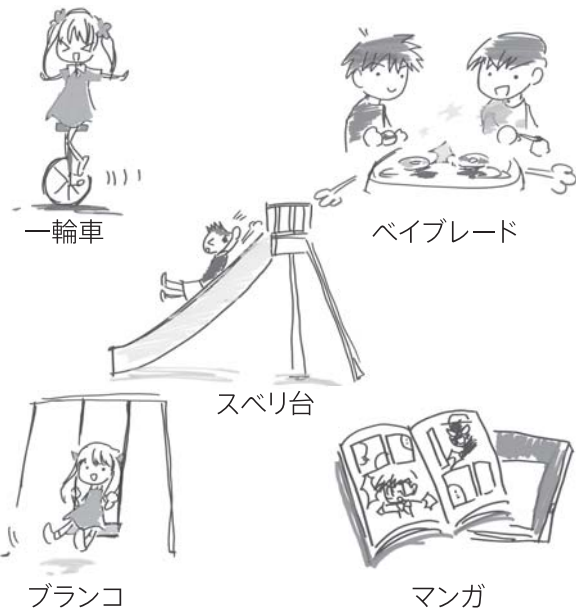
どんな遊びがしたいかをテーマに第2回(仮称)二子玉川公園ワークショップをおこないました。当日は、41名の方に参加していただきました。そのうち19名が小学生以下の子どもたちでした。にぎやかな雰囲気の中、遊びの種類などについて話し合いました。

当日の様子

今回は、大人チームと子どもチームに分かれて作業をおこないました。大人チームには「子どもの頃に楽しかった遊び」を、子どもチームには「最近流行っている遊び」を書き出してもらいました。

作業1

流行っている遊び(子どもチーム)



そのほかには、カードゲーム、科学、ローラースケート、木登り、大なわとび、お絵かき、サイクリング、田んぼ、うんてい、ドッジボール、てつぼう、プロレスなどがあげられました。

楽しかった遊び(大人チーム)



そのほかには、泥遊び、ごろベース、草遊び(花のネックレス、草相撲)、ひみつきち、ファミコン、かくれんぼ、凧揚げ、ゴムとび、探検ごっこ、水遊びなどがあげられました。

当日は、イラストレーターに遊びの風景を描いてもらいました。下のイラストがその一部です。

子どもチームでは、(仮称)二子玉川公園でやりたい遊びについて順位付けしました。

- 第1位: さかすべり
- 第2位: ターザンごっこ、ローラースケート
- 第3位: 水遊び

子どもチームの遊びは、ものを使う遊びが多く、大人チームは、自然とふれあう遊びが多かったです。また、遊ぶ人数は、子どもチームは1人か少数が多く、大人チームは、多数の遊びが多くありました。



子どもチームは、みんなの意見ややりたい遊びの結果をもとに、遊び場の模型を作りました。

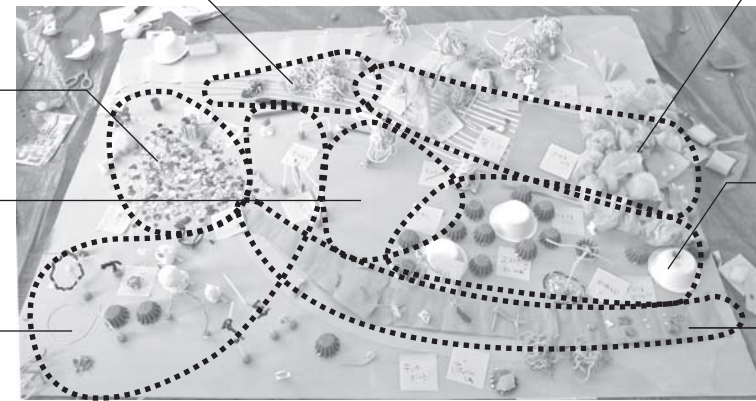


隠れ家ゾーン(秘密基地が作れる場所)

花畑ゾーン(花を育てたり、摘んだりできる場所)

広場ゾーン(かけっこやおにごっこをする広い場所)

遊具ゾーン(ブランコや鉄棒、滑り台のある場所)



冒険ゾーン(木登りや坂スベリ、虫とり、実を食べる等の自然と地形をいかした活動的に遊べる場所)

工作ゾーン(木工作や絵を描いたりできる机のある場所。親の休憩スペースもある)

水ゾーン(川やふんすいがある場所。身近に遊べる水)



大人チームは、さらに幼児対象、児童対象に分かれて(仮称)二子玉川公園の遊び場のイメージについて話し合いました。



幼児対象の遊び場

- ・自然と関われる遊び場(木の実で遊ぶ等)
- ・遊びごとのゾーン分け(幼児と児童で分けない)
- ・屋根のある場(雨でも遊べる)
- ・みんなでつくる遊び場
- ・死角をなくす(安全)
- ・交流(多世代/近隣)
- ・考えて遊ぶ場
- ・見守る親の居場所
- ・斜面を使った遊び



児童対象の遊び場

- ・人と人が出会える場(仲間が作れる、世代間交流)
- ・遊び場のゾーンを分けすぎない。
- ・自然の中での遊び場(木登り、木の実取りや草花摘み、水遊び、泥遊び、たき火、穴ほりなど)
- ・屋根のある場所(雨の日でも外遊びができる)
- ・地域の人がつくる手作り遊具
- ・子どもの味方の大人がいる場(プレーリーダー)
- ・中高生の居場所となる場
- ・遊び倉庫



どちらの遊び場も共通して、自然にふれあえる遊び、世代間交流のできる場、地域の人々で作り上げることがあげられました。プレーパークの要望もありました。



(仮称)二子玉川公園計画地周辺の風景 - 昭和30年頃 -

第2回遊び場ワークショップにおいて、大人チームの子どもの頃の遊びとして、自然を使った遊びがたくさんあがりました。

では、昔の公園計画地周辺は、どんな風景だったのでしょうか。今から約50年前を見てみましょう！さて、下の写真はどこだかわかりますか？



世田谷郷土資料館蔵



現在の様子

正解は、旧都立玉川高校付近から稲荷坂方面を見た風景です。

昔は、田畑が広がりぬびりした景色でした。現在、その面影は薄れ住宅地へと変わっています。しかし、奥に見える国分寺崖線の樹林地はあまり変わっていません。(画面中央の林は、現在の上野毛自然公園です。)



世田谷区広報広聴課蔵

多摩川で水遊びや染め物をしています。多摩川の水がすごくきれいだったんだ。



世田谷区広報広聴課蔵

多摩川は夏のレジャーのひとつでした。学校の水泳の授業も多摩川でおこなっていたこともありました。

多摩川では、染め物をおこなっていました。きれいな色の染め物は、川の中でキラキラ輝いていました。

発行者

世田谷区二子玉川施設整備課

〒154-8504

世田谷区世田谷4-21-27 区役所第3庁舎

電話 03-5432-2513

FAX 03-5432-3107



区制100周年(2032年)に
みどり率33%の達成をめざ
します。